

# 研究のあしあと 4

令和4年度 久美浜小学校研究推進部

令和4年9月

9月7日には、京都府総合教育センターの辻村主任研究主事兼指導主事様に講義をしていただき、総合的な学習の時間の出前講座を行いました。

初歩的ではありますが、「総合的な学習の時間の概要」の話から先生方のアンケートからのご意見が多かった「課題設定」や「整理・分析」の話を中心に講話をしていただきましたので、話の概要をまとめてみました。

## 学習指導要領の理念

・「総合的な学習の時間」の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次の通り育成することを目指す。

「知識・技能」「思・判・表」「学びに向かう力」の目標へ



探究的な学習とは・・・

物事の本質を探って見極めようとする一連の知的営みのこと。

「探究」と「探求」の違いに注意！

探求とは・・・

ある物事を得ようと探し求めること。探し出して手に入れようとする。

「総合」は、こちら。

調べ学習のようにすぐ明確な答えを見つけるのではない。

知的好奇心をくすぐるような課題設定が必要である。

## 学習指導の基本的な考え方

### 1 学習過程を探究的にすること

「実社会や実生活と関わりのある学び」に主体的に取り組む

問題解決的な活動が発展的に繰り返されていく

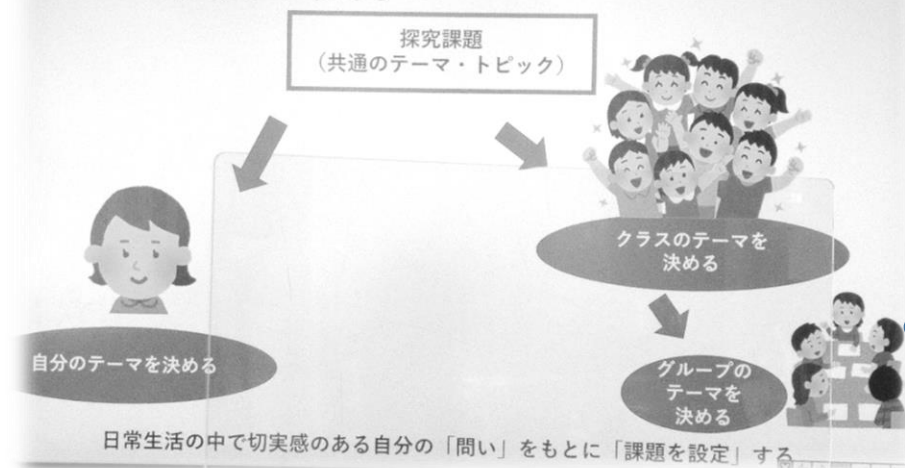
探究のプロセス

基本は左図の通りだが、実際にこんな風にはいかない。毎回ループではなく、行きつつ戻りつつ・・・「課題設定」しながら「情報収集」をしたり、「整理・分析」をしている中で課題が見つかったりするものである。

※テーマを指導者が考える時、「～私たちにできることは何か～」のサブタイトルを付けるだけで「探求」から「探究」に変えられる！

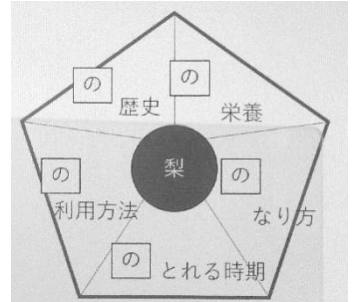
## ①課題の設定

### 課題の設定の仕方



## STEP 1 「テーマを絞る」

ペンタゴンチャート  
などを使う



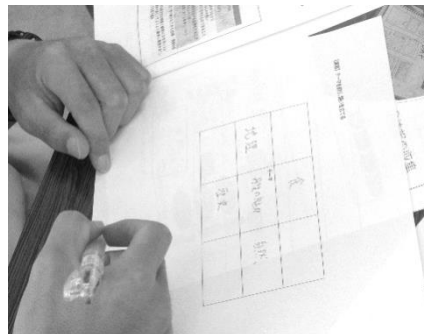
## STEP 2

「問い」を見える形にする

- ・イメージマップ
- ・マンダラートなど

## ②情報の収集

- ①本「読んで調べる」
- ②人「人に聞いて調べる」
- ③体験「自分の目で確かめる」



## ③整理・分析

- ①順序づける
- ②比較する
- ③分類する
- ④関連付ける
- ⑤多面的・多角的に見る
- ⑥理由付ける（原因や根拠を見付ける）
- ⑦見通す（結果を予想する）
- ⑧具体化する
- ⑨抽象化する
- ⑩構造化する

※ワードクラウド等で検索し、「テキストマイニング」で整理・分析することもおススメ

これらのカードを作っておいて、  
使っていくとよい。



## ④まとめ・表現

- ・体験
- ・クイズ
- ・実演
- ・グッズなどの紹介・・・

年に（3単元中）2つぐらいは、言語活動のまとめ（新聞や掲示物など）でよいが、1つぐらいは体験的なものに・・・

（例）地域の方を招待した発表会など

整理・分析のここでは「データの活用」をしていきましょう！とのことでした。  
（スタディーエックススタイル（文部科学省）STEAM library参照）